

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 生活支援技術Ⅳ				担当教員 氏名: 毛利 亘		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 介護従事者の経験から障害の特性に応じた技術の留意点について授業を行います。						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
介護を必要とする利用者は、さまざまな状態・状況にある人々であるということを十分理解し、その要因となる障害や疾患の知識及び生活支援技術を演習を通して学びます。						視覚障害 聴覚・言語障害 運動機能障害・肢体不自由
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6.	
A 知識・理解力			障害の理解をすることにより必要な介護を組み立てることができる。			
B 専門的技術			心身の状況に応じた生活支援技術を理解し、実践に結びつけるための根拠を考慮することができる。			
G 倫理観			プライバシーへの配慮、尊厳遵守への配慮ができる価値観を習得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: 30 %		発表: %	実技試験: %	その他: 20 %
特記事項: グループワークにより多様な価値観を理解し、個別ケアの視点における生活支援技術を考えます。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 14回にテストを行います。レポートに関しては授業の中で示します。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: コメント、評価を記入した者を返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①状態・状況に応じた生活支援技術とは				テキスト第1章を読む・授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分	
②状態・状況に応じた生活支援技術とは 運動機能障害・肢体不自由				テキスト第2章1節を読む	【予習】30分 【復習】30分	
③状態・状況に応じた生活支援技術とは 運動機能障害に応じた福祉用具グループワーク				実習時の困難事例をまとめる	【予習】30分 【復習】30分	
④視覚障害のある人の事故防止				テキスト第2章2節を読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑤視覚障害のある人への介護の留意点				授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥視覚障害のある人の理解・社会モデルから考える支援				授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦災害時における視覚障害者の生活支援				配布プリントを学習する	【予習】30分 【復習】30分	
⑧知的障害のある人の活動や参加				配布プリントを読む・授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑨視覚障害のある人への生活支援				配布プリントを読む・授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩言語障害の理解				配布プリントを読む・授業内容復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑪言語障害に応じた介護				配布プリントを読む	【予習】30分 【復習】30分	
⑫健常者が抱く障害者のイメージから考える支援				グループワークの意見をまとめる	【予習】30分 【復習】30分	
⑬重複障害のある人への生活支援				映像を振り返って考えをまとめる	【予習】30分 【復習】30分	
⑭評価のためのテストとまとめ				テキストを振り返る	【予習】30分 【復習】30分	
⑮多職種連携のなかでの介護福祉士				実習時の事例をまとめる	【復習】30分	
使用テキスト: 最新介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅲ」介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版 ISBN978-4-8058-5768-7				その他参考文献など: 「障害を持つ人たちのエンパワメント」伊藤智佳子著 一橋出版		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 意見交換は活発に行ってください。テキストをしっかりと読んでください。						